

休日急患診療

(☎ 65・8999)

【診療科目】
小児科(日・祝日のみ)内科・外科
【診療時間】
土曜日 後1～9(2・9・16・23・30日)
日・祝 前9～後9(3・10・17・24・29日)



金	土
1 ●原文子と寺子屋の仲間展	2 心のおやつの時間 後2:30～3 図書館 あそぼう百人一首 後3～4 図書館
8 花まつり ●大野市消防総合訓練	9 心のおやつの時間 後2:30～3 図書館 ●大野さくらまつり メインイベント
15 青少年育成の日 ●葉草風呂	16 自然あそび 後2:30～3:30 図書館
22 ●狂犬病予防注射	23 絵本の部屋 前10～正午 図書館 心のおやつの時間 後2:30～3 図書館 おはなし会 後3～3:30 図書館 ●越前大野春の小京都まつり
29 昭和の日 ごみの祝日収集・受け入れ 前8:30～正午 後1～4:30 ビュークリーンおくえつ ●七間朝市山菜フードピア	30 心のおやつの時間 後2:30～3 図書館 おはなし会 後3～3:30 図書館 ●七間朝市山菜フードピア

施設名	休館日
学びの里「めいりん」	なし
公民館	29日
図書館	4・11・17・18・25・29日
本願清水イトコの里	4・11・18・25日
歴史博物館・民俗資料館	4・11・18・25日
穴馬民俗館・笛資料館 和泉郷土資料館	4・11・18・25日
越前大野城	なし
武家屋敷旧内山家	なし
文化会館	4・11・18・25日
B&G海洋センター	4・11・18・25・30日
エキサイト広場	6・13・20・27日
あっ宝んど	12日
うらら館	4・11・18・25日
平成の湯	5・12・19・26日
有終会館	平成24年4月1日まで休館

博物館の4施設を開館

冬期間休館していた、越前大野城・和泉郷土資料館・穴馬民俗館・笛資料館を、4月1日(金)から開館します。なお、各館の休館日は、次のとおりです。

☆越前大野城(12月1日～翌年3月31日)

☆和泉郷土資料館・穴馬民俗館・笛資料館(毎週月曜日、月曜日が祝日の場合は開館し翌日休館、祝日の翌日、12月1日から翌年3月31日)

【問い合わせ先】大野市博物館 ☎65・5520

【その他】

相談名	開催日	時間	会場・問い合わせ先
年金相談	21日	前10～後3:30	商工会議所 ☎66・1230
結婚相談・女性悩みごと相談 (レディース・トラブル・バスター)	6・13・20・27日	後1:30～3:30	天神館(社会福祉協議会横) (相談日のみ ☎65・0653) ☎66・1111 (児童福祉課 内線295)
心配ごと相談(電話相談可)	7・14・21・28日	前8:30～正午	天神館(社会福祉協議会横) (相談日のみ ☎65・0653) ☎65・8773 (社会福祉協議会)

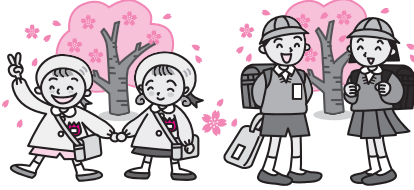
【中小企業相談】(商工業に関する相談)

経営	8日	後1～4	商工会議所 ☎66・1230
労働	11日	後1～4	
金融(日本政策金融公庫・中小企業事業)	13日	後1～3	
法律 要申込	21日	後1～4	
税務	22日	後1～4	
夜間相談	7・14・21・28日	後5:30～8	(会場)和泉ふれあい会館
和泉地区相談会	13日	前10～後3	

4月



市民カレンダー

日	月	火	水	木
■みどりの月間(15日～5月14日) ■科学技術週間(18日～24日) ■子ども読書週間(23日～5月12日) ●印の行事は別の紙面で詳しく記載しています。  今月の納税 固定資産税 第1期分 ◆納期限 5月2日(月) ★納税は便利な口座振替をご利用ください				
3 ●大野さくらまつり	4 推定筋肉量定期測定 前9～後6:30 保健センター 機能訓練 前10～11 保健センター 市民課窓口延長 ～後8	5 清明	6	7 世界保健デー 機能訓練 前10～11 保健センター 市民課窓口延長 ～後8
10 ●大野さくらまつり メインイベント	11 メートル法公布 記念日 機能訓練 前10～11 保健センター 市民課窓口延長 ～後8	12	13 ●狂犬病予防注射 ●「ねんきん定期便」無料相談	14 機能訓練 前10～11 保健センター 市民課窓口延長 ～後8 ●狂犬病予防注射
17 春の土用 家庭の日 ●狂犬病予防注射	18 発明の日 機能訓練 前10～11 保健センター 市民課窓口延長 ～後8 ●狂犬病予防注射	19 食育の日 ●狂犬病予防注射	20 穀雨 郵政記念日	21 機能訓練 前10～11 保健センター 市民課窓口延長 ～後8
24 ごみの第4日曜日受け入れ 前8:30～正午 後1～4:30 ビュークリーンおくえつ 普通救命講習会(要申込) 前9～正午 消防本部 ●越前大野春の小京都まつり	25 機能訓練 前10～11 保健センター 市民課窓口延長 ～後8	26 ●狂犬病予防注射	27 介護保険制度説明会 前10～11:30 市役所 ●狂犬病予防注射 ●「ねんきん定期便」無料相談	28 機能訓練 前10～11 保健センター 市民課窓口延長 ～後8



各種相談日

【保健関係】

相談名	開催日	時間	会場・問い合わせ先
育児相談会	6・13日	前10～11	保健センター ☎65・7333
心の健康相談 要申込	6・20日	後2～3	奥越健康福祉センター ☎66・2076
エイズ相談検査、B型・C型肝炎相談検査	5・19日	前9～11	
女性相談	7・14・18・21・28日	前9～後5:15	
育児不安解消サポート教室 (おひさま広場) 要申込	27日	後1:30～3:30	学びの里「めいりん」 ☎65・5590
断酒会	17日	後1～3	
幼児のことばと発達相談 要申込	5・12・19・26日	前9:30～11:30	ことばの教室(有終東小学校内) ☎65・8535
ニコニコキッズ教室	13・27日	前9:30～11:30	学びの里「めいりん」 ☎65・8535 (ことばの教室)
補聴器相談	18日	前10～正午	市役所社会福祉課相談室 ☎66・1111 (社会福祉課 内線473)

【法律関係】

人権相談・行政相談	7・21日	後1:30～3:30	天神館(社会福祉協議会)	☎66・1111 (総務課 内線244)
巡回登記・人権相談	13日	前10～正午、後1～3:30	市役所行政資料室(総合案内横)	
法律相談 要申込	14・28日	後1～4	天神館(社会福祉協議会)	☎65・8773 (社会福祉協議会)

東北地方太平洋沖地震

被災された皆さまに対しお見舞い申し上げます。

3月11日に発生したマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震では、被害が甚大なため、本市では被災地への救援を行っています。義援金募金を受け付けていますので、市民皆さまの協力をお願いします。

受付場所 市役所（1階市民課窓口・1階社会福祉課）、和泉支所、各公民館、各市立保育園・各市立幼稚園、図書館、文化会館、社会福祉協議会、和泉総合福祉センター、老人福祉センター

☎ 社会福祉課社会福祉係（☎66・1111 内線471）

お知らせ

学生納付特例の利用を

平成23年4月分から24年3月分までの国民年金保険料は月額15,020円です。

国民年金保険料を納めることが困難な20歳以上の学生は、本人の申請で在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。なお、本人の所得が一定以下の学生が対象です。

申請は毎年必要で、市民課窓口か和泉支所住民振興課で行ってください。

持ち物 印鑑、学生証の写しや在学証明書など学生であることを証明できる書類

☎ 福井年金事務所
（☎0776・23・4516）

抹茶サービス再開

日時 4月～5月、9月～10月の
国祝日の午後1時～3時

場所 武家屋敷旧内山家

内容 市茶道連盟・和敬会が接待
参加料 300円（抹茶1杯、和菓子代込み）

その他 入館料200円は別途必要。
ただし中学生以下は無料

☎ 武家屋敷旧内山家
（☎65・6122）

「ねんきん定期便」無料相談

福井年金事務所が社会保険労務士による「ねんきん定期便」の無料

相談を実施します。

日時 4月13日（金）、27日（金）午前10時～午後4時

場所 市役所内

持ち物 「ねんきん定期便」に同封されている書類、印鑑、年金証書か年金手帳（本人以外が相談の場合、委任状が必要）

☎ 市民課保険年金係
（☎66・1111 内線456）

労働基準監督官採用試験受け付け

平成23年度労働基準監督官採用試験の受け付けを行います。申込締切は4月14日（金）。詳しくは問い合わせてください。

☎ 福井労働局
（☎0776・22・2655）

ごみ祝日・第4日曜日受け入れ

月日 4月24日（金）、29日（金）昭和の日

時間 午前8時30分～正午、午後1時～4時30分

場所 ビュークリーンおくえつ

☎ 大野・勝山地区広域行政事務組合（☎66・6690）

「ねんきんネット」窓口で

4月1日から「ねんきんネット」を市民課窓口で利用することができます。

「ねんきんネット」とは年金記録の照会や年金受給見込み額の試算を無料で行うことができるサービスです。加入していた年金制度や加入期間、納付済み月数、50歳以上の場合は受給年金の試算額なども照会することができます。

持ち物 本人確認書類（原則として写真付きのもの）、印鑑、年金証書か年金手帳（本人以外が申請の場合、委任状が必要）

☎ 市民課保険年金係
（☎66・1111 内線456）



市営住宅空き状況

▶東二番町家住宅 4戸

（2LDK、家賃5万7500円～6万5000円、共益費・駐車場使用料金は別途）

▶西二番町家住宅 2戸

（2LDK、家賃5万7500円～6万5000円、共益費・駐車場使用料金は別途）

※入居には条件がありますので、問い合わせてください

締切 4月15日（金）

☎ 都市計画課建築住宅係（☎66・1111 内線357）

イベント・催し

薬草風呂

日時 4月15日(金)午後3時～9時

場所 東湯、改盛湯、亀山湯、
キューピー湯、日乃出湯 (50音順)

入浴料 無料

☎ 市民課保険年金係
(☎66・1111内線456)

シバザクラまつり

日時 5月1日(日)～2日(日)の午前
9時～午後3時

場所 中丁区内の国道158号沿い

内容 シバザクラ花苗、山菜や米
パンの即売や「幻の乾側米」で
作ったおにぎりの試供を行う。
シバザクラ苗や乾側米の予約も
受け付ける

☎ 花のジュータン実行委員会
(乾側公民館内☎66・3756)

原文子と寺子屋の仲間達展

期間 4月1日(金)～27日(日)

時間 午前9時30分～午後5時

場所 アトリエくのり(七間通り)

入場料 無料

☎ ギャラリーくのり
(☎66・2743)

大野さくらまつり

4月3日から20日まで、大野さくらまつりを開催します。期間中は、有終公園や亀山公園、義景公園でぼんぼりに明かりがともされ、夜桜が楽しめます。

4月9日から10日には、メイン会場の有終公園で「おまつり広場」が催され、花見そばや団子などが販売されます。ステージでは歌謡ショーや郷土芸能も楽しめます。

期間 4月3日(日)～20日(日)

※メインイベントは9日(土)正午～午後4時、10日(日)午前
10時～午後3時 ※ぼんぼり点灯は午後6時～9時30分

場所 有終公園(メイン会場)、亀山公園、義景公園

☎ 観光協会(☎65・5521)

越前大野春の小京都まつり

北陸の小京都「越前おおの」の風土が育んだ農林産物や地酒、名水そば、さば寿しなどが出店されます。全国の「小京都」と称される地域や近隣地域の特産や名産品がそろった物産店もずらりと五番通りに並びます。YOSAKOIなどのステージイベントも楽しめます。

期間 4月23日(土)午前10時～午後5時
24日(日)午前8時～午後4時

場所 五番通り

☎ 五番商店街振興組合(☎66・5597)



七間朝市山菜フードピア

「越前おおの」の豊かな自然に育まれた農産物や山菜など、春の味覚が並びます。

山菜の天ぷらや名水そばが好評の山菜茶屋も開設されます。能を舞うからくり人形の披露や花苗の即売があり、越前おおのの友好都市や朝市ゆかりの地域からの特産品も販売されます。400年以上続く越前おおのの城下町の風情を感じながらお楽しみください。



期間 4月29日(金)午前10時～午後4時
30日(土)午前8時～午後1時30分

場所 七間通り

☎ 七間朝市振興協議会(☎69・9520)

おしらせ

空き部屋を高齢者の集いの場に

近所のお年寄りがお茶などを飲みながら交流する「自宅開放サロン」として、自宅の空き部屋を提供する人を募集します。

サロンの開設回数は月2回程度で、1回当たり3時間から4時間まで。1回当たり3,000円を助成します。

☎ 社会福祉課高齢福祉係
(☎66・1111内線478)

文化公演や文化活動に支援

文化芸術活動経費の一部を補助します。補助対象となる活動は、文化芸術振興事業と文化学術活動事業です。

平成23年度の補助を希望する団体は、認定申請書を提出してください。

補助の対象となる経費や補助率などは内容により異なります。予算の範囲内で補助しますので、必ずしも希望に添えるものではありません。自主的な団体が定例的に行う事業は対象となりません。詳しい内容は、問い合わせください。

提出書類 認定申請書(事業計画書、実施者名簿、収支予算書などを添付)

締切 5月31日(火)。実施時期が早い事業については要相談

その他 文化芸術振興事業とは、市民が市内で自ら行うか招聘する公演や展示で市民に広く公開されるもの▷文化学術活動事業とは、市民が、保存・普及のために一定期間継続して行う伝統芸能活動や歴史・科学者の調査研究活動、美術・音楽・文学・舞台芸術などの文化活動

☎ 文化課文化係 (☎66・5410)

調理師・製菓衛生師試験

日時 6月12日(火)午後1時～3時
場所 福井県立大学(永平寺町松岡兼定島)

受験料 調理師6,100円、製菓衛生師9,400円

募集期間 4月18日(土)～28日(金)

☎ 県奥越健康福祉センター
(☎66・2076)

調理師・製菓衛生師 予備講習会

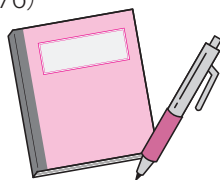
月日 【調理師】5月19日(土)、20日(日)【製菓衛生師】5月16日(土)、20日(日)(いずれも両日とも出席が必要)

場所 19日と20日は勝山市福祉健康センター「すこやか」(勝山市郡町1丁目)16日は県中小企業産業大学校(福井市下六条町)

受講料 1万5000円

募集期間 4月18日(土)～28日(金)

☎ 奥越保健協会
(☎66・2076)



人権相談電話

人権問題について気軽に相談できる「全国共通人権相談電話番号」が4月18日から設定されます。

相談は無料ですが、通話料は掛かります。

相談時間 (土)～(金)の午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く)

相談電話番号 ☎0570・003・110
☎ 福井地方法務局
(☎0776・22・5090)

吹付けアスベスト調査に補助

民間建築物を対象に、アスベスト使用の実態を調査する場合、補助します。調査内容は、被害の未然防止を図るアスベスト含有の有無などを調べるものです。申込締切は8月31日(火)。2件(先着)募集します。詳しくは問い合わせください。

☎ 都市計画課建築住宅係
(☎66・1111内線356)

事業所排出の シュレッダー紙くずを

リサイクル Recycling

4月から本市と勝山市では、事業所から出されるシュレッダーで細かく裁断された紙くずをリサイクルします。従来、このような「シュレッダー紙くず」は生ごみなどと一緒に焼却していましたが、「燃やせるごみ」の扱いではなくなります。



この変更に伴い、「シュレッダー紙くず」をごみステーションに出すことはできなくなりますので、「シュレッダー紙くず」だけをごみ袋に入れて、古紙回収業者かビュークリーンおくえつへ持ち込んでください。古紙回収業者への持ち込みは無料ですが、ビュークリーンおくえつでは10^{kg}ごとに80円必要です。家庭から出るもので少量の場合、従来どおり燃やせるごみとしてごみステーションに出してください。

●古紙回収業者

増田喜奥越営業所 (☎87・1761、勝山市若猪野)

☎ 環境衛生課廃棄物対策係 (☎66・1111内線542)

大野・勝山地区広域行政事務組合(ビュークリーンおくえつ内☎66・6690)

市消防総合訓練

明治21年4月8日に発生した「大野町明治の大火」を教訓に、消防団員の士気高揚と市民の防火意識向上を目的として、消防総合訓練を実施します。当日は結ステーション周辺道路が時間帯通行止めとなります。

日時 4月8日 金 午前9時～11時30分

場所 結ステーション、学びの里「めいりん」

- 内容
- 人員報告、車両点検
 - 一斉放水（柳町通り）
 - 救急救助訓練（防災ヘリコプター参加）
 - 消防操法披露
 - 分列行進
 - 学びの里「めいりん」で式典



☎ 消防署警防課（☎66・0119）



山火事予防運動 4月10日～5月31日

統一標語 「その油断 緑の森を 火の海に」

これからの季節は、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。枯れ草の近くなど、火災が発生しやすい場所でのたき火はやめましょう。たばこは指定された場所で吸い、吸いがらの投げ捨てはしないでください。

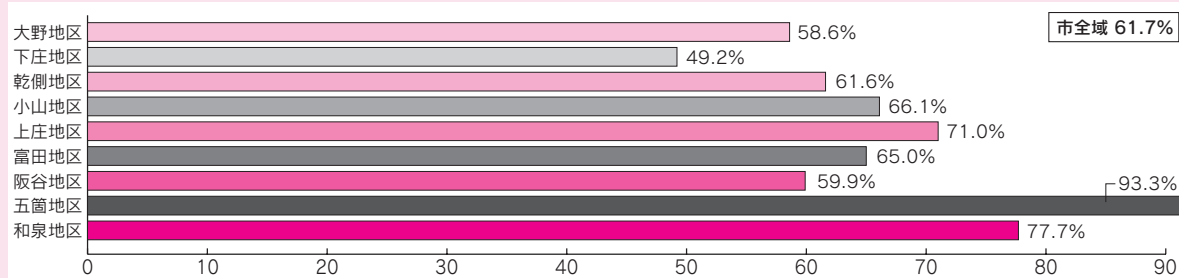
住宅用火災警報器を設置しよう

■2月の調査結果では4割が未設置

住宅用火災警報器の設置は6月1日に完全義務化されします。

2月に市内全戸を対象に調査した結果、まだ約4割の住宅で設置されておらず、依然として設置率は低い状況でした。火災はいつ発生するか分かりません。早めに設置しましょう。

☎ 消防署予防課（☎66・0119）



教室・講座

初級三味線教室

日時 4月11日(日)から約1年間、
毎月第2、第4(日)の午後7時30分～9時30分
場所 富田公民館
講師 日本民謡協会師範教授 藤本秀東紀さん
受講料 1カ月2,000円
締切 4月8日(金)
その他 有料で三味線の貸し出し可
問 富田公民館 (☎66・4101)

にこ二胡演奏と体験教室

中国の民族楽器「二胡」の音色に触れてみませんか。
日時 4月25日(日)午後7時30分～9時
場所 勤労青少年ホーム(下庄公民館併設)
講師 こばやし二胡教室主宰 小林寛明さん
定員 12人(先着)
受講料 無料
締切 4月21日(金)
問 勤労青少年ホーム (☎65・7221)



春の和菓子作り講座

素朴でおいしい「おやき」を作ってみませんか。
日時 4月26日(日)午後7時30分～9時
場所 勤労青少年ホーム(下庄公民館併設)
講師 佐々木三郎さん
定員 20人(先着)
受講料 500円(材料代込み)
持ち物 エプロン、三角巾
締切 4月21日(金)
問 勤労青少年ホーム (☎65・7221)

フラダンス体験講座

フラダンスの楽しさや面白さを体験してみませんか。
日時 4月28日(日)午後7時30分～9時
場所 勤労青少年ホーム(下庄公民館併設)
講師 水元悦子さん
対象 初心者(18歳以下は不可)
定員 20人(先着)
受講料 100円(保険代込み)
持ち物 タオル、水分、運動ができる服装
締切 4月21日(金)
問 勤労青少年ホーム (☎65・7221)

春の草木染め講座

季節ごとの草木染めを楽しんでみませんか。桜でミニストールを染めます。
日時 5月10日(日)午後7時30分～9時30分
場所 勤労青少年ホーム(下庄公民館併設)
講師 草木染工房風雅 石川雅夫さん
定員 20人(先着)
受講料 1,500円(材料代込み)
持ち物 エプロン、持ち帰り用の袋
締切 4月28日(日)
問 勤労青少年ホーム (☎65・7221)

ボイストレーニング講座

日時 4月14日(日)午後7時～9時
場所 学びの里「めいりん」
テーマ 伝えるチカラーボイストレーニング法
講師 フリーボイスタレント 辻岡のぶえさん
対象 一般
定員 20人(先着)
受講料 無料
申込方法 電話かファクス、Eメールで住所、氏名、連絡先を伝える
締切 4月11日(金)
問 大野青年会議所 (☎66・1233 FAX65・1444)
Eメールinfo@ohno-jc.or.jp

奥越高原自然の家開放

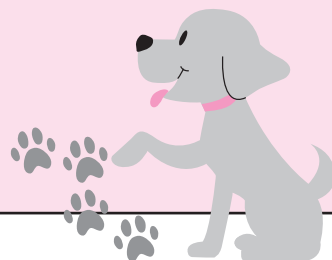
施設の見学や活動プログラムの体験を通して、青少年教育施設の理解を深めてもらおうと奥越高原青少年自然の家を開放します。
日時 5月3日(日)(憲法記念日)
午前10時～午後3時30分
場所 県立奥越高原青少年自然の家とその周辺施設
内容 施設の自由見学と館内ウオークラリー▷枝や葉で昆虫作りを行うクラフト体験▷ニュースポーツ体験やボール遊び▷ミニハイキング(午前・午後各1回1時間程度)
その他 時間内であれば自由に参加でき、事前申込は不要
問 県立奥越高原青少年自然の家 (☎67・1321)

新緑ハイキング

六呂師高原をハイキングしながら春の草花や小動物を観察し、奥越の春を満喫しませんか。
日時 4月29日(日)(昭和の日)
午前10時～午後2時30分
場所 県立奥越高原青少年自然の家とその周辺。雨天の場合、同自然の案内
内容 ワイワイコースは、自然の家付近で自然観察。ハッスルコースは展望台まで散策
対象 小学生以上。ただし小学1～3年生は保護者同伴
定員 各コース20人(先着)
参加料 500円(保険代、昼食代、おやつ代込み)
持ち物 長袖シャツ、ズボン、ズック、帽子(黒色は避ける)、おにぎり、水分、敷物、軍手、参加料、タオル、ビニール袋、雨具(かっぱと傘)、筆記用具
申込方法 電話で氏名やコースなどを伝え、後日、詳しい案内と参加確認書が送付され、必要事項を記入して返送する
募集期間 4月2日(日)～16日(日)
その他 バスによる送迎は、先着21人。送迎バスのJR越前大野駅出発は午前9時30分、同駅到着は午後2時55分。バスに乗らない場合は、現地集合
問 県立奥越高原青少年自然の家 (☎67・1321)

狂犬病予防集合注射日程

生後91日以上の子犬は、登録と年1回の予防注射が義務付けられています。4月から6月までの間に注射を受けましょう。注射を受けると門標を交付しますので、家の玄関に張ってください。



■手数料	登録済みの犬（注射手数料）	2,850円
	未登録の犬（登録・注射手数料）	5,850円
	鑑札を無くした場合（再登録手数料）	1,600円
いずれも1匹当たりの金額。釣り銭のないように準備してください。		

その他

飼い主が分かるように首輪に鑑札を付けてください。集合注射を希望しない場合、動物病院で注射を受けてください。

次の場合は、連絡してください。

- ・飼い犬が死亡したとき（鑑札を返却）
- ・飼い主が代わったとき
- ・飼い主の住所が変わったとき

☎ 環境衛生課環境衛生係（☎66・1111内線543）

月日	時間	場所	月日	時間	場所
4月13日 ㊟	9:30～11:30	下庄公民館	4月19日 ㊟	13:30～13:50	JA旧阪谷支所
	13:30～14:00	庄林会館		14:05～14:35	阪谷公民館
	14:20～14:40	乾側公民館		14:50～15:10	雲乗寺車庫前
	15:00～15:30	保健センター	4月22日 ㊟	9:40～10:00	五箇公民館
4月14日 ㊟	9:30～10:20	春日南部集会所		10:20～11:20	中休ふれあい会館
	10:40～11:30	亀山集会所		13:30～14:00	中津川ふれあい会館
	13:30～14:10	小山公民館		14:20～15:30	保健センター
	14:30～15:20	上庄公民館	4月26日 ㊟	9:30～9:40	下山集会所前広場
4月17日 ㊟	9:00～12:00	市役所正面玄関		10:00～11:00	和泉支所駐車場
4月18日 ㊟	9:30～10:00	菖蒲池集会所	4月27日 ㊟	9:30～10:30	上庄公民館
	10:15～11:30	文化会館		10:50～11:20	小山公民館
	13:30～14:30	富田公民館		13:30～14:10	下庄公民館
	14:45～15:10	森目集落センター		14:30～15:10	文化会館
4月19日 ㊟	9:30～10:10	木本集落センター	5月29日 ㊟	9:00～11:30	市役所正面玄関
	10:30～11:20	上五条方集落センター			

守ろう！飼い主のマナー

犬の散歩中、ふんは飼い主が責任を持って後始末し、必ず持ち帰りましょう。ふんを放置したり、川や水路に流したりするのはやめましょう。持ち帰ったふんは、ごみステーションに出さずに、トイレに流すなど適切に処理しましょう。

■ふんの始末の仕方

- 1 ビニール袋とちり紙を用意します。
- 2 ふんの上にちり紙をかぶせます。
- 3 ビニール袋の中に手を入れ、ふんを包むようにつかみ取ります。
- 4 袋を裏返しにして中へ納め、家に持ち帰ります。
- 5 持ち帰ったふんは、トイレに流すなどして処理してください。

急病のときは休日急患診療所へ

休日急患診療所では、次のとおり診療を行っています。受診の際に、健康保険証や服用している薬の説明書を忘れずに持参してください。

診療時間 【土曜日】午後1時～5時、6時～9時（午後9時～翌午前9時は緊急の場合で事前に電話をしてから受診してください。）

【日曜日・祝日】午前9時～正午、午後1時～9時

診療科目 内科、外科、小児科（小児科は日曜日と祝日のみ）

☎ 休日急患診療所（☎65・8999）
保健センター（平日☎65・7333）

県子ども急患センターオープン

4月1日、県子ども急患センターが開所します。夜間、子どもが病気で困ったときなどに受診してください。嶺北地区の小児科医が当番制で対応しています。診療科目は小児科のみです。

診療時間 【月～土】午後7時～11時

【日祝日】午前9時～午後11時

☎ 県子ども急患センター

（☎0776・26・8800、福井市城東4丁目、福井市休日急患センター内）

#8000 子ども救急医療電話相談

子どもが急に熱を出したときなど、夜でもすぐに病院へ行ったほうがいいのかなど迷ったとき、専任の看護師が電話で助言します。診断や治療ではなく、慢性疾患や育児の相談は対応していません。

相談時間 【月～土】午後7時～11時

【日・祝日】午前9時～午後11時

電話番号 #8000（短縮ダイヤル）

☎0776・25・9955（ダイヤル電話）

☎ 県地域医療課（☎0776・20・0346）

小児科夜間救急診療当番病院

夜間、子どもが重症な病気で困ったときなどに夜間救急診療当番病院を利用してください。当番制で、病院の当直医が終夜対応しています。

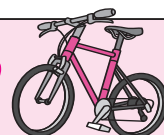
☎ 福井赤十字病院（☎0776・36・3630）

☎ 福井県済生会病院（☎0776・23・1111）

☎ 福井県立病院（☎0776・54・5151）

☎ 福井大学医学部附属病院（☎0776・61・3111）

サイクリングで健康づくりを始めよう



運動不足を解消するために、サイクリングを始めてみませんか。

市では、楽しみながらサイクリングができるよう「越前おおのサイクリングマップ」を作成しました。

3種類のマップで5つのコース

サイクリングマップは、下庄・乾側コース、富田コース、小山・上庄コースの3種類あります。

下庄・乾側コースは越前おおの結ステーションを起点とした全長約9kmのコースです。富田コースは真名川憩いの島を起点とした全長約9kmのコース、小山・上庄コースは保健センターを起点とした全長約5km、10km、15kmの3ルートを設定、体力や時間の都合によって取り組みやすいように設定しました。

15kmのコースを体重60kgの人が時速15kmで1周した場合、消費カロリーは約240kcalで、小盛りのごはん1杯半を消費したことになります。

サイクリングは生活習慣病予防にぴったり

サイクリングは、生活習慣病の予防や改善に効果があります。自転車のペダルをこぐ動作は、主に尻から下の大きな筋肉を動かし、全身の筋肉の約70%を使うといわれています。日ごろ運動をしていない人でも、サイクリングは筋肉や関節に対する負担が少ないので、長時間にわたり継続することができます。ジョギングやウォーキングよりもスピード感があり、爽快感があるため長続きしやすいところも魅力の一つです。



さわやかサイクリング教室 新緑おおのの里山めぐり

越前おおのサイクリングマップを活用したサイクリング教室を開催します。サイクリングを始めてみませんか。

●日時 5月1日 日午前10時～正午

●集合場所 保健センター

●内容 「正しい自転車の乗り方」の講習を受け、小山・上庄10kmコースを約40分掛けてサイクリング。途中にある黒谷観音を拝観する

●定員 50人（先着） ●参加料 無料 ●締切 4月22日 金

●その他 貸し自転車は有料で、台数に限りがあり、予約してください。傷害保険は主催者で加入

☎ 保健センター（☎65・7333）

職業訓練センター 各種講座案内

◆パソコン基礎コース2007

パソコン、ワード、エクセルの基礎内容を学ぶ。Office2007のソフトを導入したパソコンを使用

日程 (全15回) 5月10日～6月2日の㊟～㊿

時間 午後1時30分～4時30分

受講料 2万円

締切 4月27日㊟

その他 テキスト代は2,100円

◆ゆっくりじっくりエクセル入門2007

エクセル入門の内容をゆっくりと学ぶ。Office2007のソフトを導入したパソコンを使用

日程 (全10回) 5月10日～25日の㊟～㊿

時間 午前9時40分～11時40分

受講料 1万円

締切 4月27日㊟

その他 テキスト代は2,100円

◆エクセル入門2007

集計表の作成、数式や関数の使用方法、棒グラフの作成などを学ぶ。Office2007のソフトを導入し

たパソコンを使用

日程 (全8回) 5月10日～6月2日の㊟㊿

時間 午後7時～9時

受講料 8,000円

締切 4月27日㊟

その他 テキスト代は2,100円

◆ワード・エクセル応用コース2007

ワード応用とエクセル応用の両コースを一度に学ぶ。Office2007のソフトを導入したパソコンを使用

日程 (全14回) 5月10日～6月1日の㊟～㊿

時間 午前9時～正午

受講料 2万円

締切 4月27日㊟

その他 テキスト代は4,200円

◆書道講座 ペン字・細字選択可
季節の挨拶、お礼やお祝いの手紙、履歴書やビジネス文書で発揮できる美しい字を学ぶ

日程 (全12回) 4月13日～7月6日の㊟ (5月4日は休み)

時間 午後1時30分～3時30分

受講料 9,000円

締切 4月5日㊟

その他 ボールペン、墨汁、半紙、下敷きは貸し出し可

◆着付講座

初心者のための着付を学ぶ

日程 (全12回) 5月13日～7月29日の㊟

時間 午後7時～9時

受講料 8,000円

締切 4月27日㊟

◆ワード&エクセル&

パワーポイント入門Office2007
ビジネスにおいて必須の機能であるワード・エクセル・パワーポイントの基礎を学ぶ

日程 (全19回) 5月14日～9月24日の㊟ (8月13日は休み)

時間 午前9時～正午

受講料 3万円

締切 4月27日㊟

その他 テキスト代は2,520円

㊟ 職業訓練センター
(☎65・6840)

ちくたくの行事予定

ちく・たくは親子で参加できる子育て交流ひろばです。
ショッピングモールヴィオの定休日を除く毎日開いています。
(前10～後6:30)
【定休日】13・27日(水) 【問い合わせ】☎66・3775

♪子育て塾～マイスターによる身体測定と育児相談

【1歳3カ月未満児対象】※母子手帳をご持参ください
5日(火)前10～正午

【1歳3カ月以上児対象】※母子手帳をご持参ください
28日(木)前10～正午

♪0～1歳3カ月までのお友達ひろば

5日(火)・12日(火)・19日(火)・26日(火)
前10～正午

♪ママリフレッシュ講座

～リフレクソロジー(手足・マッサージ)

要申込、10組限定

日時:11日(月)前10:30～11:30

場所:ちく・たく

講師:加藤和子さん

持ち物:バスタオル、お茶

参加料:100円



子育て支援センターだより

子育て支援センターは、
子育てをしているお家の方なら、
どなたでも利用できます。

【問い合わせ】☎65・7188 Eメール kosodate@city.fukui-ono.lg.jp

☆たんぽぽ広場

日時:毎週月～金曜日 前9～後2

場所:地域子育て支援センター(義景保育園内)

《主な行事》

【ことばの相談】6日(水)前10～正午 ※ことばの教室指導員対応

【給食試食会】14日(木)前11:30～ ※離乳食にも対応、要申込
25日(月)前11:30～ ※普通食のみ、要申込

【保健師による育児相談】11日(月)前10:30～11:30

【誕生会】28日(木)前10:45～

☆ほのぼの広場(公立保育園開放)

日時:5日(火)・19日(火) 前9～11

場所:大野市公立保育園

(春日・あかね・荒島・阪谷・和泉)

※ほのぼの広場終了後は、たんぽぽ広場をご利用ください。

☆育児相談(電話・面接のほかEメールでも可)

日時:毎週月～金曜日 前9～後5

場所:地域子育て支援センター(義景保育園内)

※子育て支援センターの行事予定表“あそびにおいでよ!”は、図書館・公民館などにあります。また、大野市のホームページからもご覧になれます。



児童センターの行事予定

●南部児童センター(☎66・2133)	開催日	時 間	備 考
読書月間	1～30日	随時	
桜見ランチ	11日	前11:50～後2	
おやつ作り(ミニどら焼き)	18日	後3:30～	参加料50円
トランポリン	21・22日	後3:30～	
青空キャンパス	25～27日		

●北部児童センター(☎65・3665)	開催日	時 間	備 考
絵本を読もう	8日	後4～	
お花見散策	15日	後4～	
おやつ作り(桜クレープ)	20日	後4～	
トランポリン	19・25日	後4～	
でっかいキャンパス	26・27日	後4～	

●東部児童センター(☎66・5233)	開催日	時 間	備 考
塗り絵大会	4～9日	随時	
読み聞かせ	12～14日	後2～	
トランポリン	19日	後4～	
おやつ作り(プチホットケーキ)	18日	後3～	
畑作り(草取り、ジャガイモ植え)	20～22日	後3～	

●西部児童センター(☎66・0912)	開催日	時 間	備 考
おやつ作り(ミニどら焼き)	13日	後3～	参加料50円
晴れたら散歩に行こう	21日	後3:30～	
畑作り(草取り、ジャガイモ植え)	25～27日	後3～	
トランポリン	毎日	後4～	

●和泉児童センター(☎78・2655)	開催日	時 間	備 考
おやつ作り(米粉で作るおやき)	4日	後2～	参加料100円、公民館共催
春の野山を探検しよう	18日	後3～	公民館共催
こいのぼり作り	19～22日	後3:30～	



**青少年悩みごと相談
(ヤングテレホン)**

☎66・1006

奥越青少年愛護センター
(市役所内)

**教育なんでも相談
110番**

☎66・7717

適応指導教室
(青少年教育センター)

**子ども救急医療相談
(毎日後7～11)**

☎#8000(短縮ダイヤル)
または
☎0776・25・9955

ノーテレビ・ノーゲームデーのすすめ

こどもの読書週間・2011 —春は家族で、本に親しみ楽しもう—

4月23日～5月12日は、「こどもの読書週間」です。子どもたちに、もっと本を読んでほしいとの願いから、昭和34年に「こどもの読書週間」が誕生しました。

もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である平成12年から、現在の4月23日～5月12日に期間が延長されました。

幼少の時から本に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、物ごとを正しく判断する力を付けることが、子どもたちにとってどんなに大切なことか…。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考える機会、それが「こどもの読書週間」です。

国では、平成13年12月に「子どもの読書活動推進法」を



2011年・第53回

「こどもの読書週間」標語

友だち 100冊 つくるんだ
2011・第53回 こどもの読書週間
4/23 ~ 5/12

公布・施行し、その中で4月23日が「こども読書の日」と定められました。この法律に続いて、大野市でも平成19年3月に「大野市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもたちの読書活動を支援する手段として、「ノーテレビ・ノーゲームデー」の実践を呼び掛けてきました。

保育園や幼稚園、学校ではノーテレビ・ノーゲーム週間を設けるなど、少しずつこの取り組みが実践されています。

これからも家族で読書を楽しんだり本について語り合う時間を作ったりして、楽しく過ごしてください。子どもたちの本との出会いが広がることを願っています。

新着図書

【ノンフィクション】

転がる石は玉になる(野田順弘) 声の文化と子どもの本(松居直) 苦節23年、夢の弁護士になりました(神山昌子) トイレレットペーパーおりがみ(折紙サークル) (お)悪名(工藤美代子) 小沢昭一 僕のハーモニカ(昭和史)(小沢昭一)

【フィクション】

弦と響(小池昌代) 囲碁小町嫁入り七番勝負(大飼六岐) ダークゾーン(貴志祐介) カササギたちの四季(道尾秀介) 鉄のしびきがはねるまはら(三桃) 夢で逢いましょう(藤田宣永) お順 上・下(諸田玲子) ポリテイコン 上・下(桐野夏生)

【児童書】

みてよピカピカランドセル(あまんき

みんなの図書館

読書のススメ



『季節を味わう
野草摘み』

西村文子 著
家の光協会 刊

春になると、野草がいつせいに土から芽を出します。野草は、四季を通して摘むことができますが、特に春は種類が豊富なので、野草摘みには一番楽しい季節です。

本書では、野草の上手な摘み方や調理法が、分かりやすく書いてあります。著者が毎日の暮らしの中で、実際に食べている遊び心を取り入れた野草料理も紹介しているので、食べ方の参考にもなります。

自然の中でたくましく育つ、野草独特の香り・味・食感を楽しんでみませんか。

みこ(うずらのうーちゃんの話(かつや かおり) シカゴよりとんでもない町(リ チャード・ベック) ぶたのフレディ名探 偵(ブルック) 春の天気とくらし(日本 気象協会) 目で見る政治(アンドルー・ マー) そだててあそぼう(農作業の絵本 1 くら) 【絵本】 たねがとぶ(甲斐信枝) ぼくちのゴリ (笠野裕一) さくら(矢間芳子) きげん なライオンとまちはくま(デュー ボアザン) このよでいちはんはやいの は(ローマン) ぼくの村にジェムレが おりた(小林豊) ねっこ(平山和子) はる がきた(グレアム)

ぐるーぷ登場



みんなで参加し地区を盛り上げる

阪谷青年サークル



市民のページ



あなたも紙面に参加しませんか。希望する方は
情報広報課まで ☎0779・66・1111

阪谷青年サークルは、22歳から25歳までの男女10人で活動しています。阪谷地区の若者だけではなく、その友人や知人など地区外に住んでいる人も参加しています。夏祭りなどで青年が集うだけで活気に満ちていた時期の勢いを呼び戻そうと、一昨年、夏祭りが30周年を迎えるのを機に8人で結成しました。

地区で開催される夏祭りや文化祭などのイベントには、サークル独自の企画を立てて参加しています。会合は主に阪谷公民館で、平日の夜などに行っています。昨年6月に六呂師高原で行われたイベント「心灯」には有機の里として阪谷をアピールしようと、地元で取れた有機米や里芋を使ったカレーを販売。半日で売り切れてしまうほどの盛況でした。

地元のイベントに参加し、大きな成果を挙げて自

信が付いたことから、サークルとしてのイベントを自分で行おうという意見がメンバーから出され、本年2月19日には婚活イベント「阪谷ワインパーティ」を実施。六呂師にあるミルク工房奥越前で、生キャラメルづくりを体験し、高原の麓で生産されたワインを飲みながら独身の男女約30人が交流しました。阪谷をアピールしながら出合いを演出。参加者からは、楽しかったので再び開いてほしいと望む声も聞かれたとのこと。

副会長の田原祐也さんは「若い人が集まることで地区がよくなれば良いと思っています。参加は強制ではなく、都合が付く範囲で無理せずに行おうという感覚です。メンバーが増え、いろいろなイベントを開催できるように楽しくてですね」と話してくれました。



好評だった地区夏まつりでの夜店
(昨年8月7日、スターランドさかだに)

広告



石田 恵利奈さん（中保・18歳）

石田恵利奈さんは、3月3日に越前おおの学びの里使節に委嘱されました。本市では法政大学現代福祉学部の自治体推薦入試制度で入学する学生を越前おおの学びの里使節に委嘱しています。在学する4年間、市内外の人との交流の促進や、本市の魅力を広報する活動に参加しながら学びます。6人目の使節となる石田さんに今後の活動についての意気込みなどを聞きました。

——大学ではどのようなことを学びますか

法政大学現代福祉学部の福祉コミュニティ学科に入学します。福祉やまちづくりについて学べることを楽しみにしています。社会福祉に携わる「ソーシャルワーカー」に興味を持っています。地元のことについて調べたときに、福祉施設が少ないのではないかという疑問点や地域施設の問題点が見えました。その解決や地域の活性化に何ができるか考えていきたいと思っています。

6人目の越前おおの学びの里使節に委嘱
大学で学びながら交流や情報発信

こんにちは

——学びの里使節としてはどのような活動を考えていますか

大野高校では3年間、男子バレーボール部のマネージャーとして活動してきました。人の補助をするという経験を生かしたいと思います。東京でのイベントで補助するなど楽しみながら活動し、そこから学んでいきたいと考えています。

——どのような本市の魅力を発信したいと思いますか

人の温かさを強調したいと思います。いろいろな人との交流を大切に、自然の豊かさも含めて伝えたいと思います。ホームページを開設することでも情報発信する予定です。

——将来の目標はありますか

学びの里使節として、しっかりと活動し、少しでも多くを学ぶことが必要だと考えています。卒業して大野に戻り、それらを生かした職に就くことができればうれしいと思っています。



今春、同学部を卒業する2人目の使節
垣崎潤也さん(中)と握手する石田さん(右)

広告

4年間の活動を報告

垣崎さんは、学びの里使節として活動してきた4年間で振り返り、3月4日、岡田市長に報告しました。ホームページを開設して積極的に情報発信したことや、イベントの手伝いなどを報告。「大野といえばこれ、というものが少ない。水を感じることができるようには」と提言しました。

食育をテーマに観光マップづくり

2月26日、阪谷公民館で同地区の観光資源などについての意見交換会が開かれました。市民が企画立案する事業を市が支援する「越前おおの地域づくり交付金」を活用した事業の一環として実施。デザイン性の高い「観光マップ」を作り、地区を訪れる人の滞在時間を増やすことで活性化を図ろうと「ふるさと阪谷をよくする会」が福井工業大学デザイン学科に協力を依頼して取り組んでいます。意見交換会では、地区内にある施設や有機野菜などを生かし「食育」をテーマとして作成することを確認しました。地図の原案を3月末までに完成させ、さらに住民と話し合いを進めることとしています。



開館10周年イベントで課題を考える

3月5日、来年7月に開館10周年を迎える本願清水イトヨの里で公開学習会が開催され、約70人の市民が参加しました。県立大学海洋生物資源学部の小北智之講師が「日本のイトヨ類の多様性を探る」をテーマに講演。その後、市民や同館職員の計7人が事例発表を行い、参加者らはイトヨを通して生物の多様性や環境保全の在り方について考えました。

息災願い団子に飛びつく

3月13日、「木本岩崎お稲荷さんの初午団子まき」が行われました。木本岩崎稲荷神社前の県道には多くの市民が詰め掛け、法被姿の男衆20人が高さ約2mの足場から団子をまくと、争うように飛びついていました。

この団子まきの起源は、「恋に破れた雄ギツネが火をつけて回った」との言い伝えから稲荷神社を建て、団子をまいて無病息災を祈ったことといわれています。団子まきの前に区民は、団子を供えて神社で祈り、直前に発生した東日本大震災で被害に遭った人に黙とうをしました。



振る舞い指南に緊張した面持ち

3月2日、大野地域職業訓練センターで面接対応研修が開催されました。この研修は越前おおの雇用創造推進協議会が就職支援の一環として求職している市民を対象に実施。12人の参加者は、姿勢や笑顔の大切さ、声の出し方など面接時の振る舞い方を講師から聞いた後、それらを同協議会の職員を相手に模擬面接で確認しました。緊張した雰囲気の中、注意を払いながら滑らかな動作になるよう心掛けていました。



工事進む大野 I C周辺を模型に

3月1日、大野東高校建設コース3年の木原匡邦さんと松本葵璃子さんが製作した「中部縦貫道・永平寺大野道路大野工区模型」が市に寄贈されました。2人は、同校の近くで進められている工事が本格化していることから、最終的にどのように整備されるのか興味を湧き、卒業課題研究として3カ月を掛け製作。模型は、図面を元に集落や田などの様子が描かれ、その上に小矢戸トンネルから大野インターチェンジまで約3.3kmの道路が発泡スチロールや木材を使って立体的に張り付けられています。市役所ロビーに展示されています。

市民と行政が発表し合う

2月27日、学びの里「めいりん」で生涯学習フォーラムが開催され、市民など約130人が参加しました。市民団体が本市の活性化に向けての活動内容を、市は行政情報を発表しました。

昨年7月に開催された「とんちゃん祭」を主催した「越前おおの“とんちゃん”を愛でる会」の東知朗会長は熱い思いや裏話を披露。篠原春助さんは愛知県から「緑のふるさと協力隊」として阪谷地区で1年間、農村生活した体験談を発表しました。

行政からは、第五次大野市総合計画の策定や農業、農村の活性化について市職員が発表。上庄子供太鼓による演奏もありました。



乗り継がれて50年

越美北線物語

JR越美北線は平成22年12月15日で開業50周年。
越美北線の移り変わりや本市のあゆみを振り返ります。



第6話 国鉄からJRへ

●越美線の全通を断念

昭和62年4月に日本国有鉄道(国鉄)が分割民営化され、越美北線は西日本旅客鉄道が継承しました。

越美線の全線開通を目指し運動を展開していた国鉄越美線全通対策同盟会は、平成元年3月末に運輸大臣の工事再開認可期限が切れることから、越美線全通を断念し、同年3月末で同盟会は解散しました。

●管内初の鉄道部を設置

ローカル線の活性化や地域に密着した鉄道づくりに取り組むため、鉄道部制が導入されました。平成2年6月に越前大野鉄道部が金沢支社管内で始めて設置されました。

その頃、車掌が乗車せず運転士1人によるワンマン運転が開始されました。

●SLや快速列車を運行

平成3年7月には観光キャンペーンとしてSL「奥越メルヘン号」が黒煙をはきながら走り、市民や大勢の鉄道ファンを楽しませました。

平成4年には美山駅が無
人駅となり、有人の駅は越前大野駅と九頭竜湖駅のみとなりました。現在運行している車両「キハ120形」は、この年から運行を開始しました。

昭和55年から平成9年までは繁忙期や週末などに臨時快速列車「おくえつ号」が、平成4年から13年までは福井方面へ通勤する人たちの利便性を図るための快速列車が運行されました。



市民のうごき

平成23年3月1日現在(前月比)

世帯数	12,036世帯 (-13世帯)
人口	37,114人 (-51人)
〈男〉	17,644人 (-31人)
〈女〉	19,470人 (-20人)

◆2月中の内訳

転入	36人	出生	19人
転出	58人	死亡	48人

編集後記

この冬、除雪に明け暮れました。防寒と水分補給を行い、体をほぐしてから行いましたが、翌日には筋肉痛や疲れが押し寄せてきます。冬の運動といえば、除雪だけという人もいるのではないのでしょうか。

健康診断を受けたところ、継続的な運動が必要との結果でした。それを横目にしながら、サイクリングを勧める記事を編集。以前はそうではなかったはずと自分自身を奮い立たせています。爽やかな自転車の季節を楽しみに、思い立った本日から少しずつ体を動かそうと思っています。



貧乏性だ。物を捨てられない。「いつか使つことがある」とため込む。自分の部屋だけでなく、小屋にも色んな物がたまりにたまっている。読むことのない雑誌や古ぼけたじゅうたん…。農機具もある。稲の苗を育てることがなくなったのに育苗機があり、苗箱、ハウスの機材がある。縄をなう機械もある。これは父の思い出があるから余計に捨てられない▼冬になると父はこの機械を出してきた。藁を2、3本入れながらガツタンガツタンと足で踏んで機械を回し、縄をなう。ホームセンターで売っている縄のようなスマートさはなく、倍ほどの太さでゴツゴツとしたものだった。縄は、はさ木を縛り、雪囲いなどの作業に使った▼作業場は燃えやすいものが多くあったから、火の気はない。ものすごく寒かったと思う。タオルで頬かむりをし、服を何枚も着込んでの作業だったに違いない。それでも春に必要な材料をゴツゴツと準備している姿があった▼皆、使わないものは捨てるにかぎると言う。妻も時々「もう諦めて処分したら」。これらを簡単に捨てるのは、あまりにも気の毒だと思ふことも多い。今と違って物が無い時代。一つのものに大事に使い、壊れたら修繕し、また使った▼時代は変わった。物は複雑になり、直そうにもブラックボックス化し、一部の専門家の領域だ。だから愛着が湧かない。物本体と使ってきた人の気持ちるを伝えられない時代は不幸だ(M・Y)